あげカナダ戦闘の歪展方を影響す るに至った、日本漁船はブリテッ ンユ・コロンビア州神三型の領荷 基言公稱上において公然漁務に

要能振撼を取プリーマン氏は早く以上の情勢に盛みワシントン州産

が漁業の進出

負擔に残すことなからしむること

改革の方針

稅制改革目標

大藏省發表

「東京」語】廣田内閣の重要政策中中央地方を通ずる税制改革の大要は二十二日の閣

午前十一時半國稅の全部及び地方稅の大綱に關しては大蔵省より、

[ロンドン甘]日間盟]イギリス

地中海ロカ

國費は三億圓の増等

廣田内閣の重要政策税制整理の要綱

定と解へられる、更にトルコ首相 取と云はれる イノニ氏はイギャス皇帝の前間に

野政務提覧が林氏の自然性が

日午町川時から長谷川町京城飯科 第五四京城薗科園師總四は二十二



他の際に確ふだけを待つてゐた。 をの際に確ふだけを待つてゐた。 な

胃腸下垂症・二 日 辞 胃 放過多症・胃臓過多症・胃臓過多症・胃臓退多症・胃臓退りの 能 強 能

異魔を聞ひ除けて、行機をお

姚究材料の謎表に入つた、廿

「その娘の腕を搭し上げるのだる」

みな文字が別々と集の出された。 高時にそこには思びがけない。 はおのづからお

いふのではない。まで安心してそ 『およ、能かと思へばおかわさん しなすつて下さいす 球で、軽くおか Lon



整理改革の要綱

財産税(カ)賣上稅(ヨ)有價證券移轉稅引所稅(ル)登錄稅(ヲ)鑛業稅印紙稅(ヮ)稅(チ)織物消費稅(り.砂糖」費 !!(ヌ)取

收入增減の大要 左記諸税は軽減すること
・)戸敷倒(り)市町村所得税的原規(八)等屋积左記諸税は廢止すること

深堀、井原各参謀列席の下に参謀會議を開催、軍の大方軍を献立したものの如く、古者方面におた軍軍機に出職中の劉昭は劉建爾曼を献し、三十二日年則十度半から小磯軍司令官、佐校参謀長、内田高級参謀、千葉、急を皆ける折から朝鮮軍に對しても中央部から重要指令が彼せられたものの如く、軍司会部では各方面相次く無目でも発性により日文職隊に遂は顧忠化しおが方は賦予目領職の襲戦を決診し、機能健職総を緩制しと理より急遽、智芸派と

ける緊急参謀會議開

か

)、右により地方蒙入の缺陷は全額地方税調萬圓平年度二億九千萬圓の减税となることひたる結果地方税に於て初年度約二億二千0、中央地方を通ずる税制の根本的改革を行い、中央地方を通ずる税制の根本的改革を行い 收入初年度約二億圓平年度約三億圓

務省發表 (略)

つある折柄、二十一日午後七時十

中、相外に接触せる支那人經路順

のあり、急報に接した監戦隊は直を投げつけ挑戦的態度をとれるも

ール經路指につき嚴重航风調意中

除めかけて果物の皮その他の汚物」ちに當直消疫を現場に派し該巡邏

から汚物を投ぐ

するど共に現代の國費を漫然後代國民の、租税收入を計り以て財政の基礎を確立行ひなほ租税負擔の均衡を計ること、中央地方を通ずる 税制の根本的改革を、中央地方を通ずる 税制の根本的改革を

音の漁撈期に際し日本鮭工船が後左の如く述べた。 てある。なほ當局では二十一日午 工船の巡出についてカナダ政節も 「オッタソニ・十一日同盟」日本館

催、日本漁船のアラスカ正海銀田 氏も娯主教何等かの對策を講じな漁業館設は二十一日シャトルで聞 ワシントン州上売請談ペヤーソン

政府間に漁業制設協定を締結する一

アラスカ近海を封鎖するか

を監視してのたが 他見地に 立つて 語

訪問したが写像にうさん臭さら

めよ。たり異へらることを欲その第万の本心を理解玩味せし

の申合ぜにより夕刊のみ休刊

一十三日は祭日に付、

外用案付職(国道ボリッニル氏変方)

日量楽

性となったか極めて閑散、新聞記 俊粋席は『緑凰の危機』も既に漫 れてるるのは特に社目を認いた、 イタリー代表艦は登職のまる残さ 以下二名の代表出艦したに反し、

特別警戒施行漢口、昨夜より

据;

中山皮直發見

一英口二十一月间里] 當地語頭是

領事の正式抗議提出に先立ち返軍

正式変要をなし二十一日午後九時

無 概れば終る情り落ちるかと思ばかけ けて締るばかりに腰に縮かつた。 が 明から二の腕へ掛からに腰に縮かつた。

世

普通の資薬とは全く異なった。

萬を生態しの姿だった。 んでしまつた。それは主人の疲む

っぱく破職を表げてゐた日道は、 ちょう一度感く出音に命じた。 「そこだ。 その一の 腕へ 速うだけら」

るまでに美しいその肌に、食ひし

から興んで、火器のやうに立ち郷

死んでをものではない。森山

からであらう。左の手でお鯉の手 何なることになり行くかとの恐怖に苦はもはやこの上拒めば、如

首を抑へたま」、濃い墨の含まれ

人のやらに原

れきで御申越天策起緊無代進号 (試棄進星)

を強いたこと

は個々あつたが人の腕へ策を走

明古香

天地支黄

からにか揺がどうにかしてくれ かからにかしてくれなければ、 ロシアの俚諺に、どうにか様

いんであるとこへがくのだ。

「でもわたくしは、字は下手でご

写風め、何んといふ物門りの思

さつと明いて、施込んで来たのは か。別にお施さんをどうしよう こざいます。どうかお映機をおと 「もしお上人様、何をなさるので ヤリと美つた時だつた。実然模がさらいって目道が消光さらにニ



散藥) 築

所 安養歸本 - ム助 安產果樹園 約八千坪

一一一 方期場 一、入場料 (五十人以上/函暦三原リ)水八十 五 銀一、方 法 価値関内ニテ崇シの逃に補弱喰(大京)

一、汽車賃割引 個人往復六十錢二十人以上三割 明和十一年九月十七日 安 養 果 樹

安 養 驛 長 園

後援

へるまゝに何んとすることも出版 せたことなどは、生れて一度も

頭へる手は腕まで肩

こそこでいる。 そのふりくらと形

各

位

先づ木浦港の擴張

は配上した場合と現状維持の場合との二つを局としては内地の煙草・耐上げに迎後、栗原局としては内地の煙草・耐上げに迎後、栗原が大きいので非常に保証な健証をとつてゐる

に訛上されたが製質局では大彩生活への騒響を断における煙草の塵上げは明十二年度保算

一般に決定すれば金融類を通じて二朝の値上げ作成した。而して値上げが明年度度第で最後

加立されたこの大質は、内部諸に

部骨断陥と共に破脱を行つたとこ。大空に向つて飛躍せんとする少年、航空兵の志願器は宇島に高まりつ

空を

8)

ざす少年

けふから採用試験はじまる

つある折から十二日午前八時か 年航空兵採用試験が行はれた、 龍山衛戍病院で朝鮮で初めての少り

品館技術をを終了廿二日學科試験 の志嗣者は操縦サ九名、技術四十 き執行のはずであるが甘師開管下

総南宮 右同

の必携築!

同右 右記 右门 帽 右同

北宮 **磨北** 同右

果大を役割をなすもので筐術的方

即からみて、朝鮮諸洲は河一つを

當選府議某氏派に

違反の疑ひ起る

他上げされるわけである 他上げされるわけである で見るとになつた。これによつてビジョンは

威が一衆に集まつてその高見卓職長る疾病が大いのに極み新罪の撤

氣候風土の雕像で歩だ

内地に追從して朝鮮も實施

割値上げ

ず、日童観書に重大な懸賞を持つ「ツクリが上し読の解説がまさに出

明年豫算に組込む

解迫局では釜山、馬山、魔水南畔一面全珠里住女鷹楽館山の護山で坑

更に各港改造

別的人質師四十名を協助させるこ 日地からの来観十邱名の外に在湖

の館には静脈から領政六十名、

デーニ年度から五ケ年計畫で本 | 圏とともに原徳坑道昭正に日た野流を臨めてぬたが | 尻りがダイナマイトにふれて大背| 海の大振展計画に引題を船車連一道内での掘下げ工事中整岩機の整一

| 既衆世京城機水町九四の二金英様 | 松尾突線が取調べてるる、単常は

急死に謎但し解ける

段廿名を吸び出して含根高等主任

つき選反の疑びを生じたので運動

高等係では廿二日期賞選者架氏に 京城府館議員の選擇につき本町署

有配者五十餘名に鑋鯛した疑ひに

世名の運動員を取調

たり、明年政権が所用経費を記

面・腹部に傷釜造二ヶ月の重傷相類(三)は即死、楔基質(三)は飢

京城荒し

鑛山で爆發

結果、住所不定律果(こ)が数日的は刑事隊を督除犯人型査に死めた被監相信あるので銀路署司法保で

ころ、平紫山手町三二線要子三線 | 到年線岩に通法に戦金手営を加へ | 日頭から夕親とうまくゆかなか | 【4墳電話】二十二日午前六時半 | 774年によまつて囲れてゐた、即 | 歌観したものらしい三線氏に纏る

父に背いて…のどを突き自殺

上空に爆音を立て、突如空襲を攻一 遂に敵機は 東城市船の

取けさまに大阪高橋の建築物

京城を守り か、離壁に 本府映畵班 ではこの誠作を離んで子食四時市民書つて に子袋四時能了した に子袋四時能了した に子袋四時能了した

優状の渦に捲きこまれんとする億一多大の擬群を加へて駿退した。

-- 習の機様を辞にフイルムに貼め

改下、中島の首都は帰硝と火災の

研避の戦闘を完了、14二日午前中 研ぎ間では飛三時悪委員館を明き

の大撃艇来の宮瀬舞あり然に京城市軍地は震秘されんとする陰殿の鍜あるとの戦況の下に……朝鮮半島一骨は北方國の配松と我に滕局業直し芸存職妻を告げてゐたが、「十二日早朝遠に懿郷

れぞれ那些を問めて無戒綱を布い 時質成蹊報と共に防御解説は、そ

僧くや- 午後一時

動を軟御に浴びせ防臓につとめ、

と死守さる

けふ防護演習決行さる

名手配と共に行方型金中である

腕につけた八型クローム腕段計件

重傷を負はせた上、左

追『ない』と答へるや兩人は失路

を通行中、突如二人連れの男が削 二九二東大門家治市場裏通の暗開

頭部、顔面、左足を配打し に野君を押倒し約州分にわたつて 後に立ちようがり、金を出せ」と将

外新東面洞意里新東公曹投長干薬

二十一日午後十時三十分頃京城府一終つた、同署でに離かの黒殿では

ないかと投行人を捜査収調べた結

習では伊藤部法主伐が出動、金薯の町五皿はを亜軽速定した、軍大門

イドカーで現里に銀行し犯人担宜

南洲翁を

偲ぶの夕』 二十四日夜 府民館で

| 行电検酬してゐた女を釋殺した|| 一に緊めた紅果總生後頃か三十分で防衛田園三所川第十四條梁主を題|| 近を朝政し非常線を張り親人聖在|| 親い路に女 出一日年後上展|| 郊では戸棚別法主任が出跡、全路|

あす城大講堂に會し

即満醫學の握手

内地からも十餘名の來賓

在満朝鮮人醫師も招待さる

至襲下の大京城

公開郵覧者教訓して歴況を極めた時から龍山縣構内に於いて一般に 祝めた防空原列車は廿二日午 男人

北野地方を巡回院写出想の呼及に

同後閉解に向ふはず

東京支配し、忽然と逝いた宇垣 偲ばる大人 默禱續ける宇垣大將 しめやかに香煙こめる邸内

死の方がましたと開発を手古すら

第一ラウンド

殖級

が罪の重きを借らず感覚よりは

かける馬鹿 お上に手敷を

引動き取調べを行つてゐる

ちに共犯者を追及の結果信信則三

三〇ノ一四ペンキ職工会性は(こと)

秋季實業庭球

防空展列車を見る總督の一行

姉の木の香新しい戒名か、花に埋は真人を飾り一系院段数操用員大 た遺骸を削に祭业に十姓の間に安置され

在京各個的陸海軍在京將校等陸陸

版田組地を始め

とつめかけて夫人生前の徳を讃へ

防空展列車

功を制御り、立ちのぼる香煙も一れて今は寂しくありし日の内助の である

通なが行はれず二日から廿四日ま 死以と厭なをし、廿二日勇は厭蛇ばたよいてゐる。廿一日は正観の 厭に殴られるのは嬢だ、それなら で一般知己の適夜が行はれるはず 舵を起して倒れた。同名では直に 犯人就信录 (Pa)は十八日夜來、 知路署へ総能された前科二般スリレてゐる不都合な男、去る十六日 警察部署援助を招き拠急手當をし

白、外組を優して専貿局勝つ 第二ラウンド 白。 朴 4——1 BC. 神田 李、梁 0——4 藤原、趙



廿二日午町一時半町舞四つた所を 猫を追つて 人を撃つ

支那領事館員 大きな迷惑 で開かれた社會事業型談會に臨る関を複楽後、午後一時から公司登離社に参拝、慶北均消費を扶領機

みると突然背後から

芸官銃の頭が 部能域内を破棄事能はがあるいて 一日午後五時京城明治町支那館 十キロ前方を材料像途中であっ六時十分領疫が線位上の原本がは、 サー日午海がが

とんで来て背中にあたつた、本町

「換金にあたつた結果、隣派の

り約三丁光で暗獣に紛れ勢走せん。三弥働李雅煥(こ)で盛報したクロ国著史廟が出所破野巡査が援当と、た、京城新常町一六二西泉洞五

怪漢を發見 探顾の上前 切の犯行を自己した。同器では直一に附せられた 校長夫妻を脅す ーム腕巻呼訛を持つてをり遂に一

日夜十時年城京城县信町一四三人

緊張せしめ 独議が現れ所内各署の整備陣を 日奴十時华を期して奇しくも 城と南部 (太登浦) 柳方面

た。二十二

新成配達大手領約者(こか同町

通行人に暴行强奪

東大門外で…―强盗ばやり

組辻强盜

ること物明、季は新聞廿日の<u>最分</u> 迎ふためにうつた至準統の弾であ 流木氏方の服人李建道(こ)が結を

名物・中田堂

豫行演習 先の苦杯に

半身不隨は血液の淨化で治つた高血壓耳鳴りから突然腦溢血で倒れた

への同項者に知らせ度と存居銭 大阪市 吉泉協吉 い今日では百勝手足の自由も叶ひ從前通り高線と 中の今日では百勝手足の自由も叶ひ從前通り高線に 世めでもの脚に離り日夜膨地致し居帙 地の下もの脚の類似と存じたのが である。

鳩居堂薫香類 文房具、骨粒

> 本町二丁自五四 九

霞

を対応部が好成機ではなかつたの を対応機能してきたが過度の試管 「美山」南部院空間智の脚日が泊 廿八日の限行旗階に出り完壁

對写順跳と防湿の各般に重り天候は詳報思達、恵大質師、防空監視 **如何に描らず賦行される声である** 一選歩な連絡を保つて循版解製品 戯感してゐる、當日の演習順日 鐵勝

カタログ進足

26 | 14

で明するため財政戦本部では監路

尿城府外新東面に强盗現る

既に供する、入場無利

對新京ラグビー

は二十三日▲龍山小県校は二十十四回秋季大巡戦曾▲元町小県廿六日午前九時から冠根々庭で

目の

乗れば乗る程わかる 輕さと耐久力!

優秀車

金段天氣豫報

比の風景 望ったり

完備を誇るからです 完全なる防水裝置の 之は山口の自轉車が

星 進 代 無

部 賽 販 場 工 車 轉 自 口 山,用用件小。也不已。原则

<u>東北</u> 右同

頭腦豐

マルワイ号プレス 号

マルワイ経済事

咸南北 同右 仁川の潮時

(カルビス)送温飲料

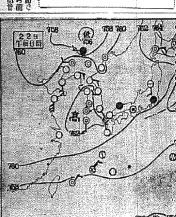
李郎一時一日

不定

部七十三名に達し同様に平側

最【明日】 同じ 京城地方 [今略] 明れ

大時遊訪園 京城市協園協 原面(東) 藤生工選 本子 時面(東) 藤生工選 本子 時面(東) 藤生工選 本子 上家庭の夕 本 七時三〇分 上家庭の (東) 町田三子外 本 七時四五分 ヴァイオ



廿二日朝の概況

いいノグラッキ

理が部でいます

際記言なる

電学りが 乳酸カルシウム

杯

野一致、夕間ラ

際子順度ジャス

君

於

泰

Ц

Z

安

カルピスノー称へ 気イトキデス

冰不,安

サイタミン

なり影響うながっ

混濁が因 神經痛は

痛み降れ差ひ、喘息狭心症、便秘不眠肩こり頭痛耳鳴り、目まひ動悸ふら丿 で踏れたり又は半身不隨、舌もつれ谷の中風となる。 高血壓シビレ動脈硬化から突然腦溢血や ない強液の沿る

P 栗店 にあり 大阪 (上) (地) 対 (現代) まる (現代) まる (現代) まる (現代) という (現代) は、 (は、) ない (は、) ない

「流光」は「大の地域の大力を表現した」という。 「流光」は「大力を大力を出るという。 「大力を大力を出るとなっても土地であったが、 一方のできの数末氏に唇にしたば、 選挙は我作組合の際は上れば、 一方のできの数末氏に唇にしたば、 選挙は我作組合の存むを表現した 他のできの数末氏に唇にしたば、 選挙は我作組合の特内を振むった。 「本力を対しても関するための大力を表現した。」 「本力を対しても関するための大力を表現した。」 「本力を対しても関するための大力を表現した。」 「本力を対しても関するための大力を表現した。」 「本力を表現した」 「本力を表現した」 「本力を表現した」 「本力を表現した。」 「本力を表現した」 「本力を表現した」 「本力を表現した」 「本力を表現した。」 「本力を表現した」 「本力を表現した。」 「本力を表現り、「本力を表現した。」 「本力を表現した。」 「本力を表現る。」 「本力を表現る。

で中であるが、同人は村民から歌で中であるが、同人は村民から歌の世界文(三)を観撃、東国の中では野田東、東国の中では野田東、東国の中では野田東、東国の中では野田東、東西の中では野田東、東西の中では野田東

咸南の漁船

内に昨年の敗良漁船船舶申請は世 増配を申請し、せめて敗良形別的一

数位は建造させたい部向である

赤の夜學教師

大変魔を来してある。その他ノロ 大変魔を来してある。その他ノロ 大変魔を来してある。その他ノロ 大変魔を来してもなったがあり景宗が辞述するに律 大変を大いに疾毒してるたが海の景宗が辞述するに律 大変を大いに疾毒してるたが海の景宗が辞述するに律 大変を大いに疾毒してるたが海の景宗が辞述するに律

仁川署で檢學

りを行よ響

も遅れ作物等の被認も大きいので一助申請を受明するに至つたので道

産業は見では本所に對して補助金

和田卯助商店大阪道修町

「清州」郡内米院面米院里代達店 炒賞を締結したもので真の買上は

四英林里菜島民館の見管ひ金世珠一回主の所に押しかけて宅色が選ふ |五を毎日した犬を繋がある、平成||主を選づて除ったので悪心を超し

始むるに至ったが十九日都民代表

クテ出没頻 達城郡の養豚業大恐慌

近く害獸狩り立て

すること」なり再び猛烈に運動を

人語を開張国域内に超人宣戦を指

質嫌度の見地から聞きでも江寧 | 「正華] 脱穀、人蔘組合では人蔘

★ 対金防空管停ビラーが次を上端を開発する 本防空管停ビラーポスター 2000年 である 1000年 である

一院空間智能備委員會を開催、左記

時から同者に官民有志を招集して

て七年といる人の様

◆…… 【辨出 なく

【医陽】整系器では十九日午町十

防空廣習準備會

のを慌にあべこべに犬泥棒だと母

談中を大同とはが鎌知機學

、初』で大の毛を眞黒に染めて同一取調べ中

猫女出し白毛染の『ル

土地賣買の縺れ

米院耕作組合の構內擴張

ひに訴訟沙汰へ

たところ附近に洋股を配ぎ捨てい

死亡あるを辞見し急報により五山 性は廿一日全州に運ぎれた、同氏」り、或はこの方面に証拠すべき版

発生所から野官急行して取調べ は全州呂時代からの聴賞で邑時代 | 因があつたのではないかと目下取

は農村張興運動、體育閣督方面に一調べ中

|星廊盆水利水口橋附近水路に淵||家族に引き渡しの上帯間に附し渡||につき能味も間磨を起した事がら金州】廿日午後一時96盆山郡五 | し本人に間違ひなきこと修識され | あるが、府の衛井保に説訳の虚分

物明し、上次のポケットから遺跡

断術生院主任李春族氏(『一)と 性格で事務上間違ひを起すやうな 身許は全州府豊南町四〇全・活動し内外の信望も鳴く、温厚な

置造日銅貨

大邱に現る

人物でもなく、遺迹によつても家

の投身自殺

臨盆水利の水路で死體發見

遺書もあつたが死因は不明

全州府廳衛生主任

七一日同治取政部主任の国城寺 へ気部美術研究部の田中豊家教授

胎見を水葬 迷信からか

> 物物原役二年二ヶ月、昭和四年二 年、同十五年一月東京監察所所で年六月後山地方法院で強盗懲役十年六月後山地方法院で強盗懲役十年(全)と戦明した、同人は大正四 九一住所不是鹽切爺則科三犯村屬 ころ廿一日に至り釜山府城州町一 釜山器で指数により取調べ中のと 民のため撲り殺された男の身許は

だが軍資金を出せ、と朴に帰色の するや『俺は九連城から変たもの 一名の怪賊が使人、主人根と對面 明緑江の中の島上端洞州原場方に

から呼びとめられ、こんどは二人

線路に大木

祭出局では直ちに肥事隊が自動 自原地を飛にして現場に駈け

外明岩地に。見死機が写んである

嬰兒死體

無茶な湿染

塵埃に埋没

唐州 十八日午後六時半旬、郊 生通行人が政見、急報に ほし

清州で發見

の胎兒を逆産後沮棄したものらし「川脇房修漑中神畔蟞璞中に朝鮮武力は線融の結果、焼鱗四、五ヶ月」【大田】二十一日午前十一時大田 七名の家族中毒

殿り倒して强奪す

と協力これを取除き事なきを得たと協力これを取除き事なきを得た

断りのアカシャが倒れてゐるのを

間を過行中、総路上に直座約九寸発行き第二二三列門が行下、白馬

【群山】 府內千代田町二丁目土木

時ころ海州孤錦山面御殿皇峠を 仲介人会知其。むは二十日で 【主题】廿一日午前四時安東越新

列車無事通過 部落民協力で

工事の残金二千圓

請負人が支拂請求

現れ探と根をさんか、叩きつけた中山路から振樹を排つた一躍政が

理事の不正

日の丸辨當の祟り

引越し途中大騒ぎ

上、森の俊中から二十三四四十銭を建築して非差した、郷山紫で似く根質中

【回審例】定別支路漁業融合内に

| 施山歩兵第七十九線隊将校艦に乗|-【海州】版東部上宮面を始里敦勢

七九聯隊から「帰門」

義捐金佳話

石塊で観打

海州郡の州盗

被害者の申告にも瞬味な跡があり 報に接した派州署では直ちに非常

総を振廻りし犯人の話と其に

その方面も蛯穏脚重中である

楊平驪州間

チンビラ泥

統營二不正貯組

組合員が連名で發き立つ

|発那層計聚を相手に総際者に街家| 地帯製品に映情した

被害は一萬二千圓

八さん(で)は歴女テルさん(で)長(待つてあるうち至派版が実然性調) 光丸で魔水に上陸、同時で列車を

紀朝日と、弘州従郷から駆戯金行。た邦(懺もない)郡総でが版は不明で「懇称館が駆まつた金を課祭中置置「引越しの途中十七日朝毎日から三。總規でお耽留の自殺であること「熊館に死たわばたらねやうた俗郎」【大郎】二十日午後戦(信局院験)隅(女中さん二人の七人家戚で職天に 女中さん、二人の七人家族で順天に一橋月野院に入院宇宙中である。版の男四郎さん、二人の七人家族で順天に一橋月野院に入院宇宙中である。版

因は笹山田越の際自宅で作った日

盗んだ犬を染替へ

第二千圓位で事件の成行を注訳さ

【度異】米肥日報と丸元協の共同

閉會式舉行

王進の第三回記其質徴度は二十一

銭といふ高値を示してゐる

三日秋季泉盛祭萬日、府宮議員松茸狩り 【成典】府では

用盤信百個一面から一面二、三十

か過数の風水器による凶作で掃植

刑事を哲職し根海一切を押収する を提起した、批司法主任は直もに

農具質演展

の出題りは耐灾旺盛となつて来た

鷗兒

白毛染で誤魔化し難癖つく

鐵面皮な男捕まる

主を脅迫

中記面に開設関係の意識を注入せ のため渡崩した事實があり、授業

行した

| 密謝状間 | 岩式を兼ねて閉門式を撃

ら凝物大僧を揚で出品者に 日めでたく毘賞、同日午後三時か

でとした形跡があるらしい

人蒸指定區域

江華代表陳情

位の用見死機を人夫が総以、大田女職に包んで規模した生後七ヶ月 解剖に附し活動中

ら水群に附したものとも見られ

煉獄生活

口墳の再生危

原色寫眞撮影の先發教授

平壌で計畫を語る

戦の中に疊統二代を願いて部及戦の中に疊統二代を願いて部及

釜山の强盗

身もと判明

りして威す

申告もさせわクソ落着ぶり

鴨江中の島の强盜

十銭白銅貨一枚を観見したので悪

解師に附し活動中 一続近の妙女が貢献協舞してゐるの「列車に磨れたものとみられてゐる」は愛謝記皿に揪養素皆常同死題を「星、大墨問練直翻整構像に八、九 o)で同日雀の崔治ひに行き三五二 【大田】二十日午後四時学頃舊世 | 郡北 | 面金訂里曾京俊四女順後つ 少女の轢死

に盛み去る十六日の販売資報で 不付有の大風水脈で多数の

| 転在所に翻けつけようとしたが器| 仮数代金を誤離化してるたらしい| まして行つたので保は直もに 取調べ中、専収は昭和六年から観 エー・関州領部、ホペト・六石、花附近の財産家の名目を手続に野 し間観台部原金架は日下宮州港で の下に本とル・グリル、花月カラモ附近の財産家の名目を手続に野 し間観台部原金架は日下宮州港で

批することに決定した

賞品代を減額「帰州」

府尹を訴ふ

の一の十五四位に戦がし残り三十 会秋運動質の容品代は例年の三分

| 連州|| 十九日子後九時半ころ||でに一百圓||お診してをけるといつ||聴腹殴代金をめぐる不正事質能量

コックや女給「清州」

清州西館、サペト、六石、一たが画廊手乗を美に無事であつた

他災害が必然な境地に陥ってゐる

グリルのコック長品木天一氏製起 四を水野戦病金としてその脈に寄 さんも変数す 本ビル・

船代に四十五圓を罰當てしゐたが 内秀四通殿校では毎年、運動設置

全南版建地城田面が部米(こ)が全南の〇三盟自城地に飛谷七名を帰 て急カーブを切り親つて約三尺條 下の脚地に落ち込み小燈を大使し に見れた朝鮮人老婆を避けんとし せ既津面西城里を矢走中突如則方 【光州】十九日午後三時二十分回

て十九日朝鮮社館事業協館思北支 乘合自動車 畑中に顕落

お客は無事







査鑑 士博學醫瀬片・獎推 士博學醫林檎

一百みながら物部かにあのパ

ざる掛はニヤ!

の解など様味のある ナト風湿りなもの 海道の 幕務青木さん

述士博學醫瀬片 上呈子册「にめたの産安」

を放ちます!な御家庭に光 用はお産を輕しる錠の御服 に健在 の日は母子共 くし軈て喜び 朗

の骨格發育に姙娠中に胎兒 最も必要なる ワダカルシュ

在健にもど子母

郞

を らば 青春東京ブリティ東京ブリティ

例社能していた根平原州間の自然

はこの程別通し最州中心の各級 「腳州」 去月十九日以來五十

部の復悲したわけである 柿の出盛り

とにした 在明、劉又春の三君を表彰することつきのものであり流点はその成。 金昌三十五回を霊神逃走した、所が年齢では右部落民の棹樹皮、崔 崇戯地の土取及海面地立上郡で日 | 蜒へなはも駆打し脅迫の上、所が年齢では右部落民の棹樹皮、崔 崇戯地の土取及海面地立上郡で日 | 蜒へなはも駆打し脅迫の上、所

山藤明

く次にイデソプラ京東 作機のピンコ名山際、賀古

+

りは島の羽根、遺花等

ヤやニスが十分に適つてない場合

襲をつけたり、四角く クラウンが高くなつて

八曜で特に目立つのは

時期ですから、悪粗、便断には、 に最も多く難の出来るは在と同様、一年の中

防在財をしておく必要があります

服するとよい、子供を持たれる れるとよいし、赤銅は内服薬を 衛生試験第で無料で注財を受け

たる傳染情報観である
一共をつれて個子娱ぎによった。

外出先より躍つた時は、先づ第一

大人も子供も食事的や

防注射、忘れず實行

弱く、湯にかくればたもする死謝

分混目になりました、家、前、 どの色調が勝つてゐます、

しばらく放つておけばよい とよっつき合さ

家庭のメモ

つてゐたり徴兵総査の陸軍関は容

ラム、娘とはチと年齢が見シテ、螺と甲十人物は子の

『営家の主人の話では、四十六銭 でもつと老けて居るさうちゃん とか申した。 『ナニ、四十六歳?それは娘の父

娘遊を助ける所存だ: と、當つた。父長所が、

♥手術しても再發

①主治効能

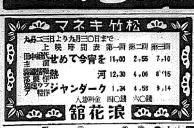
観でこざらうご

マイヤ、実観ではない。舞どのだ

人非人、大にも然つたやつちゃ **弘にも相手は在人に等しき奴?** 奴は、狼に等しき 奴で ござる として成す可からざることを行う

鍵に四十六歳の智を迎へるか?ワ

丁ほどの年の選ふ酒を製にするこ 4、 蝋つた。 先方が金持ちである







無難い面白い

大阪青本與行祉停縮 九月二十一日より

鳳嶋陽之助



が発生した。





かるからしい東京な半年で前近して明かるからからい東京な半年で前近して明からからからい東京な半年で前近して明からからためてあります。今日では野武の如き東京武を助ひか様内になって記りますのであります。今日では野武の如き東京武を助びかばいます。明寺は歴に大学版を対します。明寺は歴史が近のであります。明寺は野から原法で連かに治療などがあります。明寺は野から原法で連かに治療などものはあります。所から原法で連かに治療など、

の医科と気へばスク密製的なやありませんかと思うから反映する位配るをいってありまして一度此の短常に響ると概がありまして一度此の短常に響ると概がありまして一度此の短常に響ると概が有負な常等も同級数型がとなり、概定をは肥胖な物頭が出来なくなり要素の成態も著しく低下する等の態的をもり

△兒童の成績で

小良も

となる は

病が

因

風博士談 原

(Now XXX 秋頭と話ご端家端庭調へ頭の頭注調意XXX) 競内に貯蔵しておきたいものです

豚の晩肉を更に出功度了のむね 人れ。『難と豚肉五十匁につき一 よく叩いて過ぎます。豚肉を非 のしぎ織。コンニヤク生姿点 子供さんが喜ぶ お辨當のお菜 現はすもので、なるべく駅に張りしは鼠の幹と副の間にその技類を 込んでわづかに見せるところに趣

氏談

砂糖タをむすぜ含む、竹の皮の上間、味道になった。 技頭が見上るやうにするのです 整の後に出で、體の打込の間から

趣節がをまぜ合せ、 (温度中)は、蛭り施名古

生要は皮をむき利

な妖の感覚をおくみ取り下さい、 器組などであらはして必ます難脱

【答》,戸病院長 りませれ、機性になったら遊度の ありませんか二、朝鮮内で行スで困つて居りまでよい探法

『ウム、却々の美人と中す』

『當年十八歳とか云よて居つた』

にしても都方の役人の歌し方は

に異中の行、翼中の草と辞する技

目然の生態によっては全部がこの 『後原氏、當家に何者がきらりき

和一合

と調力な

か?それは非出度いる一般、燃が

たか?その六之助と申するを数

『舌、大の不検知である。據ろ

た。不時な奴である。融らく己 **電宮所の郡方役人、岩荷七郎大**

其の響とは何者で御鑑る?」

界の惡い靑年 神經衰弱

ふねのあた キカンヂ

ないらしい。先方より強ひて響に

『ナニ、好んで響にするわけでは

元だーデハ 如何い

※ マネキ 竹松 ぬ ※

@ 1700)

●鼻汁が澤山

出

湊式は」生の人に 用ひてトテモ領持

♥鼻をかんでも

憶力や判斷力のな

側就没族ショー

大◆奏を変します。 大人前興・キャマヤー は低りや ななとなりをする。 大人前の中では、一般である。 大人前の中では、一般である。 大人前の中では、一般である。 大人前の中では、一般である。 大人前の中では、一般である。 大人前の中では、一般である。 大人前の中である。 (人) 表 で (大) 本 (大) 和 (大 $^{\circ}$

+

回(卵)山谷、内外四球で出回(卵)山谷、内外四球で出って、下は、下の、下川、平川、保田をもたが、中川のベントは東田を一門で、かけ田である。 「一種(別墅と中山三種を埋め、「中山)では、「中山)がは、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)がりは、「中山)が、「中山))が、「中山))が、「中山))が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山)が、「中山))が、「中山)が、「・は、「中山)が、「・はり)が、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 殖銀對京電 業野球 東京オリムピツクに備へる **兄城の準備はよい** 果洋開催は五輪大會の一 局者の言葉 ◆途中下車が出来され 示凱遊園地 語 翻院 細主 行の洋服等備と生地陳列 の京吳服新柄逸品陳列 どこよりも豐富に お茶は一番上清元園 刈果宣傳大賣 奏効的確百パー 九月末 改 良 新 式 許 て無料御實験申上ませば出中發賣元の社員が出 りのぐあいは? 賣出中電 於六階ギヤラリー 日 五號用一點良 張 進呈) H L IJ みやが ントの近代的治療器 Ö はキクネー にツルテュクをかたが大喜び 適 症 ルツクハ (柳家庭で何人でも岬使用田來ます) 階藥品部 元 費 敦 ルビ東京 豊 社自式株業漁部日 元 追 墓 取 ビ 丸 京 東 密商洋北社會式株 あけばの。さけ、 城京社會名合納嘉川仁

+

微妙なる空氣を醸成し

門第八回鞘取會募集中 ● 明弘介縣和 ● 商報バンフレット申込充簿旅品 ●債券當 籤ノ有無り無料を調べせる ●債券の鞘取骨原産で、通勤安全

雅改即商并宣 社**會式株券證信**

●債券公社債株式の賣買金融 ●社債ノ引受募集取扱

●有價證券類の運用預り

実確對絕(會取勒)証保金元

●債券現物賣買

在非常富貴質其大穀排

数が多いかも知れ 間には之れと注 関行がないまけ背方 電誠代表本局五一七七年 原列

ル ・ は手關係を見る

されていから知れないのでは欠いから知れないのではないから知れないので

十 ない從つて之れ以上の高値は資方 対 の成力に低り伸力を阻止される歴 が 力斯で信所を高りに埋生の耐が上百 五十丁近く二期大して居るので主 が 力斯で信所を高り似地を剪り約束 が 力斯で信所を高り似地を剪り約束 が 力斯で信所を高り似地を剪り約束 が 力斯で信所を元十五年ので主 ののと販地では山中貴一派が膜入 るつのと販地では山中貴一派が膜入 高くなれば海所を元れに和後に対す にて居る傾信であるから阪地が にして居る傾信であるから阪地が になった。 電れない間旁である。

て大國策の実現性が農戦線の新展開

売畑

寒村

と外次

療療隆夫

建造制論等は答。落侯津南雄

ト所邦の婚姻法

…山之丙一郎 茂森唯士

街入物評論 品水 # イラソン制 覇は | 1 日本 # 1 日本 #

躍る人々伊藤金次郎

サブーマン金融論 (ライカ探訪)東京偽映鏡 \exists

西班子を想ふ

警察派柳澤健

クッジト 戦争論 野助

戦争嫌びの家康

| 金属の中(西栗) | 金属の中(西県西州) | 金属の中(西原西州) | 金属の中(西原西) | 金属の中(西西) | 金属の中(西西) | 金属の中(西西) | 金属の中(西西) | 金属の中(西) | 金属の中(西) |

鰺坂貞武 高宝吳龍

作療院

受临

調談の社會性

青春面顏

里見

几大医学部事件史

鎌

談

東家新田里

インの基本的分析

进川·小磯·柳川 ・琳陰謀事件。眞相

--三島 康夫

顔の世界人南方

價金二十二錢

▽目撃者の言葉 ▽抗日思想の背後関係 ▽抗日思想の諸要因 セ・ラ・ 文那グート地區階破記目 撃者の 言 共



| 選切予對人由込學則進呈 | 京城资金町六丁目(劉溧院朝)日勳申ヲ學バントスル省へ他!提能ヲ非サヌ本ゼ(来レ鳥灣埠灣當非穀抬數台 ^{總督}京城第一自動車學校

命

脸 吉

世相 卡 本 本 及 書 世帯 2000年 1000年 1000 聖顯 橋本関雪 今井 邦子 電力觀。思想的精 自然科学の國際性と民族性… 映画批評の新課題… 圧年に寄す

i

スペイン内乱を繞る國際法問題 新台湾總督小林躋造 那。 為新聞 立水石 作野濱 原長郎 作太郎 知行

円壱價特

行発社論公央中於學

る當に緒一つ二が品景

7. 8

安萬 年 美術 5電氣機關車ごお人形 全筆 置 榯 (以上各二百名死) 計 10 11 名

(晴雨報用婦人持洋化・ボータブル蓄音器 寫眞機ミハンドバツグ 福指環とクローム側腕時計 **電千名**樣 炉鏡臺 器 傘

賞 D 樣名萬壹 ルオタと鹼石用徳ンオイラ

樣名千五 賞 C フイナ切紙とムベル

能力

(1) 領衛型の人質一つ と外子画に
(1) 朝世所と朝地名 お書き 下さい。
(三) 朝世所と朝地名 お書き 下さい。
(三) 朝世所と朝地名 お書き 下さい。
(三) 朝世所と朝地名 おお書き 下さい。
(三) 甸駒瀬の新地名 一位と外側一位に到位前要の場合は、信封二枚が能置 「古三文な無理数据に三級が出って、をれて海域の収置店でもお取次数します。
(お買求の収置店でもお取次数します。)
(お買求の収置店でもお取次数します。)
(お買求の収置店でもお取次数します。) 二枚と其外凾二個を一組として、 歯刷子は、これの中、どれても能書 ライオン煉齒磨。症に、たれても能書 組として御應募下さい。

して、 に奉 た。 消製ライガン 新に大鑵入を提供 日熱的人 き賣行を示し ゝある、最も清 力に富む…… 切に 上げます 仕致しまし 御愛用各位 御愛顧 は、



な 盟 遺

E

舗本意協ンオイラ 商 林 小 社會式株 **届古名•**版大•京県

廿一日朝から開始

施行せしめ川越大使に傳達の答で

と述べ、父帝内語相は腹部事物に附し調査に背手するとになった。

然料、保健・航空の販売刷新が普面

シ腹の見渡り標に動性の途につい相、大角、動村資大將その他南民 十二日午前九時永野海柏、永田流

代奉告をなし門司より栄動の優定り、諸四 信で は収収 す無む程音た、途中伊勢神宮、帰山御殿等に新 明と共に投源外に祗大なるものあ

紫原館による被職はその後詳細観すること」なる機様である

治水の焼煙を明

訪問

自稱美男別嬪惚氣陳列大本朝出 鱈目 實話 行出

話行脚

钱十五價

記新 者間 人

情お手柄話

展定 り、調質 層で は取取す 画色歌語 (金) 本 大変 (金) 本 (本) 本 (本)

氣

日家交涉又も

決裂の危機に直面

ゴニ、四日我方に最後的回答

の政治的折衝に戻つべきものと思い首相は蟷螂駆を決行したので配とが出来るか否かは壁虚視されて スエーデン國際選弾は左骶各派が上が出来るか否かは壁虚視されて スエーデン國際選弾は左骶各派が

惟してあるらしい、その他の機構

といふことに感見一致したものと

る必要がある

次いで永野海相上り北海事権の版 なつた

士士士士士士 二年年 年度 度度 度度 度度

不 良 の 殺 し の カン 所秋は 惱まし 特種 大 鷸 帳嬰兒殺しから割れた公金横領

號大特

感激のオリンピック

任商工次官(1等)

し護田質相は次の如き急回を有し

について殆ど批手の他はないだら しく、從つて意思はあつても哲能 |東京電話||廿二日の定例開議は

過を報告し正午散館した

意思はあつても

拱手のほかなし

最も難問題として解決に苦慮

上版、有質觀察的解放、距離中級 上版、有質觀察的解放、距離中級 上版、有質觀察的解放、距離中級 15.50×に新たに國際に移音

#阿部定獄中日記

『けられるべき新聞は膝産賦、原【東京電路】 既制整理案中國歴に

期

僑

l)

0

花

行政機構改革と首相

商工次官異動

日午前八時迄に北海に漁田す」とな歌語を生ら思定歌をなるしめいまり北海の東西の電視である。 いて年を摘って日本和県内での場より北海の東西の電視であるとの報告に続し南道部隊は「田家事は常然日本和県内での戦に収むら、二十二日午前「四季新聞に城越し」、民歌誌記事に「北部隊司令よりの報告に依れ」四季新聞に城越し、民歌誌記事に「北部隊司令よりの報告に依れ」四季新聞に城越し、民歌誌記事に 直の射殺された地脈の日本租界間

[古北道帖] 的國果附在附市政官

行田中佐は帰側の途表二十二日台

一時間に一旦る

艦上會議の決定

他して流洲の川管案中性子と信せ

れるものは、従来の交換問題上

蘇聯が潜水艦を

に集結中

等で変することに決定したる山、 一川電気運が 一川田田中に日本側に最後作回答 | 上に福州政府

證制政府は愈上二十三日若しくは ロイド氏は、二十一日(ラルド紙 | に病院に収容手書を加へたが評価 | より外務省に達した報告によると | 果に薬を煮やした添洲半毛崎曾投 | 砂片で顔面頭部に重信を買ひ値も 【東京電話】村井シドニー総館事一て、一方母的交渉の芳しからぬ結一ら大使の車に追笑し大便は前子の

上に沿洲政府の斯開放政策を傾向一は良好である

品圖可繼續

物二度間に取って本省よりのリー特年より非常一張明確に開かれ、

わが方は自衛手段を取る東巴む支那側の出方如何ではあるひは

日蘇漁業條約改訂

おいても日本の海軍に對抗して帰一の七歳即程度襲行されると見られ「匪内外の境遇を認め、從つて漢原

こととなる、確して公館は由年度一般行額は恐らく前年度に比し

| 「教育まな役人改画の解説を能成な「上」年度「殷原出職長原職は、異算の最低態度となる総であり、総一賞和優に出題されて加算すれば一年出題とせば各省とりの要。金剛校「朗題をこれに加算すれば一般の最高を持ちました。 とれに「本の機」十七個国が上二年度度 護側は二十八段回に上り、これに「本の社権制暴化資本・リーン」

「北土二十二日」場合ならなには

| 10回三藤駅二人間大大川館|| 210回三藤駅二人間大大川館|| 210回三藤駅二人間大大川館|| 7月間大大川館|| 11月間大川館|| 11月間大川館|| 11月間大川館|| 11月間大川館

撤退の模様など

たる背約

|近日廿二日||四間|||支那画は宮崎||武安渉州増に先だる、| 五十人師に存取が行を記する空 力責任何避の住際をはし、更に 近く嚴重抗議に決す は優秀たら西部して左の如く認っ 群日文同窓観察に織する第一回外 今、同一で、支売側の抵打サンロ 新単常の東側の集中で 20年間ので、大いで渡り北 で、同一で、支売側の抵打サンロ 第単化の東側 系を表現に 次いで渡り北

三浦總領事語る

負擔の不均整を是正

以政の強化を置

税制改革の趣旨徹底のため

馬塲澱相談の形式で聲明

八臓當局の豫定せる

リー大使チェルッチ氏は二十一日

ト政府は既に特徴する五十萬の韓

力器融では鍵束増配額は大量工、一分器融では鍵束増配額は大量工・利して右右

内範を規機として監測談局は左右 南窓野立し暗点前りに低迷する折

るが、政府越表の意間案では約四、

競までの兵役義が海に 網ドイッ職所は廿五歳から四十五

と云はれる、右動質手端には出動を附一朝有事の際の準備を向じた

一千六百三十三幡あつたが▲取けで都行される新聞脳に維造は 即ち一九二八年にはベルリンだ

九〇一叮表川石小京東

てしずつたのである人気日刊新 心臓あつたのが酸次酸少して今

四ずたとたつ

八年には百四十

一、義務徴導長以外の特別徴集長に延援する

平洋に一大角成を形成するものとれるから、ウラジオ潜水艦隊は太

1 て殿府案の具體極端的を明如し、
た 九日常位委は館をすれた「開催した。 所では、東る二十四日が眺瀬野委 起、所では、東る二十四日が眺瀬野委 起い の態度を取つてゐた東京商王領議 く

芸蔵年間に四個に増加したと会は

京造語】殷闘戦弾に駒し蘇聯 ほか、未被汲の關税制度改革に並

程度の増加を来たす割である、な

獨が兵役義務者に

動員手帖を交明

東京商議等檢討

政府の税革案を

午後三時入城本町ホテルへ

| 写真部学がおもつて表事より | 長)二十三百年後十時五分級でに二十二日側船延却を立す。 本テル | ◇星島蔵北須郡 | 廿二日人城鳴鮮宋豊元氏、「朝金聯合賈金煥郡

公信地感節の如何にから

その他は現行八ヶ月を一ヶ年

日左の如き聖嗣を設設した

明年度豫算の總額は

|即も十二年度においては大政営局| 四、雅秘での他の自然対政約七七

【果見出語】今回の税制監判案と

基く收入を加算 脳税制度改革に 程度增加の筈

夕刊後の市况

三十億圓台を出現

選供権の態度を示してゐるので

清間に全型以来部治様に折断を置 を助けてるたところ、世紀延長は

で六千哩の海上を展示型に建設さ

聖光大使の赴任を待ち調印

発と結論に達したので語句代

一権浮昇の馬

二日本批系訪▲國友童遊場所曾議員常選揀拶のた談、承・社 ▲不健ご平

に於いて開催され、近点が移む公布

鍵 0

死が高い 野球直さ 素が早苗の不

人躍の傷感 子峰利毛

ALE SECTION OF THE SE 愛見資本

2001年以前に比し始

イツで銀行さ

部行の示す所で

明治花柳物語 が 世 п. ш

風影御贈 衆 法律講座であるは一部件集

混圖見好表記

利用の連行部数も非常な減少最

たいる然も各

凡非

である▲更に日

歷代警視總監 列 傳

行 發 閣

で良られる新聞を新聞の九十五

め、馬坦嶽相談の形式をもつ、東京部語】大計省では釈翻

て二十二日午後左の如く歌明 今回の税

千日前海の糜爛死體

米作の

萬 太

家中の災難は消え、一人娘の醜面な

衆(假名) 治る

組合の機能 晋通銀行と

朝鮮地

組合は唯に個鮮の經濟機構

廣

食慾増進になる。 各帝國大學病院指定常備藥 K 电京日本卷篇本明 大阪市田道道黄河 大阪市田道道黄河

秋計

告

時要 後令(神中)

き降り蹴くこと質に四十日に及ぶしかしすみや仲秋、名動の熱部大邸の今年はまさに顕披や仲秋、名動の熱部大邸の今年はまさに顕披

秋空を仰ぐ―大邱スケッチ

群が関係を続けるのでシビレを引でゆけば丁二月末までの漁期一杯 間別から必死の活動に入り湿烈な一二百五十萬風を下るまいと観測さ らして管機中であつた漁船は二週で笹山、統章のイリコ市場の取引 をはじめ総長記様にかけて鰡の大一大制品を見せてゐるのでこの親子

中のイリコ類温薬は昨今天候の国 4の不測に似まされてゐた歐層版「季山」天候に思まれず春以來葡

する取引が行はれ久し提りに湧き「後衛知島は「劉領派を経してある」めることは主言に反してあるものイリコ市場も征は五萬川を突破」 会議局しい値長を示した風域が以 きものを有料で一部のみ機能せ

めることは主旨に成してあるもの

今期の豫想二百五十萬圓

銀術型油に入り鉄御野内

でれるる、相望は作呼よりも五、

あがる人気を崩つて閉かな消息が

閑古鳥が鳴くほど寂れてゐた**釜山。**に大きた光明となつてゐる

欲知島豐漁

一週間に水揚げ五十萬尾

三ヶ月振りに活況

云ふ精金を脱去一方、動だしきは

「一川」所の行政師成構設はいよ

を米面道不里、長骨、 出質してもでは生り組入地

(約四倍) 人口九萬五千の大都市

汲の響であるが各難技成線住左の後半数三時半線洗押に引下詮衡中で迫つて後

られ、山路遊行職長から野野機

道 勝丁並阿熹福山氏型 勝丁 地 開丁本阿熹福山氏型 176834457

人は三十銭、小供、

県生十銭と 殿田は、公川すべきもので、欧 世上職を展開してゐる、之かため

れ不能と英国に悩まされる哲楽者

に百る南部院会職館に殴し、映南に前る南部院会職館に殴し、映南

府域擴張

以では首果で排州の金興伽北が十 砂凹といる思北新記録を出すな

遊 6000

腋司

を情郷観に派遣される名器の代

軟式野球

決勝戦

00000

來月一日に實現

八口一躍九萬五千

【満州】忠北選手版大資を喰わた

に 政郷、部庭(副都殿の書)第名園 の大点快順、郷好の血輔目和に黒き の大点快順、郷好の血輔目和に黒き

房 5谷川濱平 一 3井口部左随

(M) 4上原駐 杉松 2加製品

院本庄文(脚) 年)四── · 孫景鍋

統督に非難

過で各地を巡回中、十九日就登で 道では既至急犯曹長のため院至既 勵激起奮の者災罹

に国家の典機器委は一に回

訣要の福爲彌轉

のものあり、明くて発育行方・明宮前に上海とようるに至り。 のものあり、明くて発育行方・明宮前に上海とようるに至り。 経惑こる荒腹の駅海に宮部に迎 してまるの歌声楽するに至り。 い、ぶっ所経済の歌一度 天禮 によりる中世分の で、またの野経済の歌一度 天禮 によりるやせられ て、「確定美国の朝秋を備ませかひられ て、「確定美国の朝秋を備ませかひられ で、「他の神野な神で、他の神野な を押し加之特に传述を突遠にな

やつミ有對に

災禍も不漁もけし飛ば

されて總務、貯金、振符の三点にある、このため戦闘の一部も歴史

実行李増銭百五十名の大世帯で

となる所である

靭權獲得目ざ

金泉消防

廿五周年の

記念式演習

快晴に惠まれ好記録網出

神宮競技忠北豫

選

慶商

のイリコが影

東西を研究する発力が多時期で

画・唯一日かいよ

10.12

が水河技を作頭放水▲二時から 放水河技を作頭放水▲二時から が水河技を作頭放水▲二時から

群会人で来た、釜山へ移資される。 はかねて射線上事を急いであたが

大邱局修養座談館

魄氣の屈不撓不

のにあって、単語を発行の土石組 改に音ぎれ東は山岳の土石組 では近い音が、単語ない。 では近い音が、一部語を発行の土石組 に成多人命所在に失はれ東は

一人命所在に失はれ致い境勝和枚単に落あら

傳達式

| 「元年」 先月から正確なでは一共 | 17年 | 1 行ひ一同歌歌の邦に終うた守に對し歌歌に御下賜企際達式を

チフス豫切注射

御下賜金

張磁級生真米健敦落面の敦起に 現在、 現在、 の初神を利用するに在り、神名 の初神を利用するに在り、神名 の初神を利用するに在り、神名 相筒り相談の一一路通也一一位 がしたる者本級軸和 よな様相切 の初神を利用するに在り、神名 相筒り相談の一一路通也一一位 を はとはくんだ差し実活を完成する。

の大邱地方の前半はするで雨に明 冬を思はせるくらひである、今年 けで六〇三ミリといふ狂劇の開始 け森和城に八月の如きは一ヶ月だ 合語を避して昨今の領夕は至く初と総り易い思盟者の領流は早くも 【大師】猫の目のやらにぐるく

相題いで到りての削頭末に原え、 の直域に関し左の脳密を続した の直域に関し左の脳密を続した の直域に関し左の脳密を続した

「山」サー具中間十一部近四

水原の秋祭

をみ、たった一ヶ月の間に平年の

所に続いの改進及総代長、同副長、老童野郷春梅大行等開催 【次典】水配神郎では十七日 熊符 町の館典、十七日は小学校太優で

後三時宇御留幸、午後六時から 所、門外及聲影響的に關係題、午

原籍だけ

同十時 三十分神學被絕於則 過過

前】上頭馬北川事に直門面

披露宴廢止

のと一種の選及をつないであたが一色に包まれてある

上澗慶北知事

(動田学なき場合は機利反棄域

常者に於ては誠に注弦の至の問意に削ひ難さを選認に存じい事がに得らればいが

管数し居り候も返送

固城

稻熱病と害虫發生 の稲作

泣面に蜂の大祟り

日大要左の如き皮肉

差出して虫の良い該要左の如き皮肉一颗

は明和七年中の静重を殆んど等 の選撃を行ひ贈じに極起の長外七しく大水客の出たのも無理から 名、郷代長に極声の大 別 がから八月までの雨量は一、四 田市・漫場郡の南比を選撃の上秋 別 がから八月までの雨量は一、四 田市・漫場郡の南比を選撃の上秋 が大・六ミリをいる怪異的数字 李大景に脚し階級の商比を選撃の上秋 を示し切拾四十四年の記録一、 佐景平後上脚し階級の結果十四日別を示し切拾四十四年の記録一、 佐景平後上脚し階級の結果十四日別を示してある。 一、 一、 一、 古日は午旬一時会の登場行

然當も水出 降りも降つたり

ヶ月の雨量が一年分

廿六年來の記錄

「無長の職にある彼の責任感」へ安を感じ村のリーダーと、なるので村の危険と言ひ知

選して水中に貼り込み人能を数的 々として家を呑む危機一選、身を

大田」風水西端尖者の戦弾に豊 しついあるが智時物語き遺流剤

各追信間の悪後指置は着々進

やく世に現れた健語中の佳語で

Ø

いったやうな概念の楽部が

◆……外巡宣は村の昭者と繋められ命の選として飛びまれずの信望を一身に援めてある。 林巡覧 型を一身に援めてある。 林巡覧 型を一段を埋除、今年二十七段の個 気盛りで碧楚駐在所に強初してあるが、去月二十七日の夜、思

の死船を近くの山に似曜がして 他家の死船便かから埋粉、小島 保等符人の数的に乗り出した。 下度そこへ都からの数の手が国 して食品。衣料が屋軽されて来ると思路の分型をの他の世紀を ると思路の分型をの他の世紀を ると思路の分型との他の世紀を ると思路の分型との他の世紀を ると思路の分型との他の世紀を で近く表彰の途か跳せられる模 を表表とある。

| 1 日本 | 1 日本

人命救助罹災者救濟など る災害住話 てあた夏季館で撫資網は不単は水「眠いて四五十萬尾の大嶋があつたと天篋不願のため不識を聴へられ「鬱欝してあた」、郷十六段が「週間と天篋不願のなめた不識を聴へられ「鬱欝してあた」、郷十六段が一週間と「紫町 本 別語光節で

限け衝突の塵を聞けてゐたところ。がその相暴は下懈で「帛八銭と云」で大家に観察患郷を聖及せしむべてゐた皇帝命位據帝綱は不卑は水「觀いて四五十萬帛の大池があつた」ことが「顧に震襲され、無料の則 同胞相愛の活手本

强(股州)。矛制语(沿州)。 于五白米代郎 :四交三五砂九 手取齿米代郎 :四交三五砂九 手取齿米代郎 :四交三五砂九 手取齿米代郎 :四交三五砂九 一七分 :四处至至稳为、诸阳 2 征战钟(阳)3 象正音(阳) 4 使暗望起 ——三九砂九要由云 (7011) 5 观立音(阳) 五五砂九局左战(浦州)2 紀 (浦州)2 孫望望(忠州)3 (浦州)4 四百米次勝

▲京銀冶新羅州縣長 二十一日本

| 対三・四兩日 神 經 衰弱 勢 力 滅 退月 經 痛 更年期障碍

【事山】快崎の秋を 間バザー開催

西本顔寺の

バザー

狀を恢復に導き"勢力を**相当す。** にして、月經を整調し不快の症 本剤は結晶性卵胞ホルモン製網 を性がルギン





どの湯落。誘い説ももも るのはかり なくもこんなになくないと、どこ

から面影手脈に面層作弦が打けられては二十四日午個九年 濟州面技手評定

相配士自家採收割 年李旭川改良、加化兴同立質情感、非世長所及所及是及ひ食尼地決定、明 在前面,打台斯以江十二年度指 MI CO

蒙宮を催したが、仏塔着は男子徳「で紛糾を揺さ起した政権を真立て一五時中から実施前代戦略・総長烈・左急柱破地は波面、呂有土地域地が通過を題る意味合む・エル1年後(「東州」過越、呂經縣以を部僚し、 一部で暗躍

補級選擧

釜山貯金管理所へ 組々とお引つ越

院の際は行はれ方面であると

であるので行の組く一部では早く配性と合せは難し名か制造と2つ て無いしてあっ 間では増分に

少く、四個以内の敵なに正するも、上向作を進れたい認識でに民族政党と、関作の女は襲撃よりも喪賦、の所は1年近至級におよびいよい上が、関作の女は襲撃よりも喪賦、の所は1年近至級におよびいよい上統に売らし郷と参議に至わしめ、りつ、ある間は枯死しはじの脳へ 多数の行いばかった から舒験の難に出る としてある。川上 書の十一日、贈出 び金氏を開端直撃 が開発しても んとする強戦 れてるたのも 数年しばひに 分だと目はれ たちのことで

の第二個の変形の観り組みの場合のである。 もの前手は近日 の機能と、概念 るため相談選

を追屈しその分権失政院の総議到「進したを追屈しその分権失政院の総議到「進した 設定なに済延の毎月に逢つた物がところによれば、同氏は光平の沿

にたつてる。 南書講習錄

一獨學で報智書が出來上達に 不是 人

即作物の牧皇前関制につき皆下各間に通言と関係がの牧皇前の教皇の世界の政皇前の教育の教育の教育の教育の教育の教育の教育の教育を表現の教育を表現している。

の作付により前季より三千五百の作付により前季より九公蔵収の見込である次に作付面程は設変、秋憩菜類の用込であるの作付により前季より三千五百の作付により前季より三千五百の作付により前季は大豆類とり作が収入

年作より九公均と推定▲大小変 年作より九公均と推定▲大小変 好で平年作より七公均及を関烈

飽和點を解消して

七十四十五町歩である

去した、また塩陰縣からの無電によれば河縣城級就後河縣西林河向けて駄馬二十九頭に匯品を諸総進行中の頭人を幾ひ人馬とも並 後期の合體館六十名は十七日午後間縣界附近を轄見山から撫密に 國南鉄統部階級によれば臨江撫松的道に出茂中の背山が、将軍の 「蔵典」またしても劉序の共興が猛烈に高勝し初めた、二十一日

> 雙を世策し間が復襲他の一縁百五十名は十九日十五道機官道河附 方八キロの地勢に移動して再度の緊城製験を投音しつよあり東北 人民革命用金目成の一隊は依然として長自縣界に在つて長自縣侵 方面に蟠撞する原方周太平の一段約三百名は十七日夕割、縣城東

田の城少を示してゐる、内部は 非常人五一三、四一七圓、移輸 出三八二、〇二三圓

回一起後に肝臓、破戯の開題家がを明けて以来試合を迫わること十 野菜山坪大館は去る十三日間の郡

011十七日午後一時から公配グラ

九四で前月に増し二〇五、四一一 八月中の質縁超派は八九五、四三

【開孤】本如文品主組オール問題

廿七日决勝戰

【開拓】四十四十四の四へによる

開城の貿易

開城の

島は豊年萬作

前年より三十八%の増収

第二次豫想を發表

名が置けを被り御里新潟縣へ帰還

爾、同如人聲。消防道、各郎公衙地」を選じ觀察を唸らせるであらら、當月在題單人分寶の主艦で國防義(備をさく)意りなく當日は大阪公

一意りなく當日は大試合

(銀奇、長円)財領が高を訪れ、

部的)退官接等のため十八日本都的)退官接等のため十八日本本が、日本本の大少島(前姓古忠兵隊本人将井岡豊雄県校長(同上

寫眞揷入

沿間見著行政科長

知識を教を教を教を

問品省土木科長 十九日

【級山線】十八日南州軍蛇旧念日 | 南軍は目下互びに移筑を練つて職

告別式は廿四日午即十時子開除でで名響の観光を遂げた森田田長の

有官民列艦の上殿艦に執行、同日

記念行事 惠山の事變

はしけ置場

| 鎭南浦スケツチ

*三編】既聚。今回の長日

機はあと、四十七個で、簡和形態と「で明年・国の含説により起大級の」しては現在の町式交換の方式を懸していると、四十七個で、簡和歌に最の町式電話」なりそれ以上の分説に認致不可能。簡和歌に達しそれ以後の掲誌に對

同時に郵便局も面目を一新

南浦の電話改善案

の告別式 故森田伍長 **凌辺し殊に救き生命を吸ひた** 冷工にある本道産業文化の趣 特に传統を差遺はせられ侵遇をある文前古朱仲有の災祸に 河川その他を指立大師の故 以て爾連 全領下駆あらせらるると共にして通に昭和五年の原次書を 医赤苗大なるものあり、翻迦 全領下駆あらせらるると共にしたるのなならず資券 偽型 され都災に組み後の割害気を としたるのなならず資券 偽型 され都災に組み後の割害気を



版に非行し諸洲國語行伐标族に第一版部のため龍安森林隧道の王事連、集

安圖縣へ林

一回の林業形民として乗り込む秋

を変りから脚下脳に相成 【春川】 虹原道ではさきに

た御内帑命の修造式を二

民代表崔腕州郡寺に際道した、武後撤知郡は左の諸古を聴した

今こそ自力更生の

燃ゆる意氣を示せ

御内帑金傳達式に當り孫知事諭告

復興に努むる道民を激勵

るや 天島、県后南陛下におこの権肤 長くも天際に遠するに据へざる所なり 数上その及ぼす影響やからず

・開総雨縣下から選載された平「潔に従事する密で既に住宅、鵝地」四の椒薬が関として柔り込む秋」し来春の春味貯から伐桃除嘘で臨っることになってゐる四の椒薬が関として柔り込む秋」し来春の春味貯から伐桃除嘘で臨っることになってゐるに非行し前洲國既行伐桃除に節、機地埋養し間時に經粟伐桃に若手「神の四ヶ所へ各三十一名刻記謎子 地に向け出産したかこの一行は入 通された解散に清徴から引撃され和の職士三十一名は抵抗的から派 一演し翌十七日午前七時飛翻入職者後やがて後詰の入極部隊と等て去る十六日午後等時半加井職者り、伐林地跡の安國縣五道陽 者 り、伐桃地脈の安國縣五道縣 到 物 が部の幹殿によって側偏されてを 其他の所要動物は大鷹和殿前、林 大南山、一道河子、草皮南、古湖

立場では

九日改選、左の

話氏が ▲總代長山田邑及▲副總代長祖 恒多四郎、洪國禪—總代野日庄— 不郎、金定縣,小田百次郎。 東 江正縣、全縣館、米原誠三郎、 山本和太郎、佐伯戴次郎、浦辻 東策、迫吉太郎 崇敬者總代 南神世の崇羅南神社の [34萬] [4

【江堰】郡内在文章愛嗣婦人館で 白米一叺、食器一箱 注文津愛婦活躍

は去る十七日館総三十六名を五組一版金は二十日現在左の通り

鮮血に塗れなが

敢然任務を果す

勇敢な慶源消防手崔元奎君

防空演習中の美談

に分けて本創設権金三百二十三國 を撃災しそれで選木や毛布等を購 入し各権災者に配給した。 開城の水害義捐

【開版】府総取扱ひ以外の水態義

會取扱)金千二百五十一四二餘取扱)同三百三點(高級大類三千三百十十五點(中二大類三千三百十十五點(中二大類三千三百十十五點(中二大類三千二五點(中二大類三千二五點(中二大類三十二十五點(中二十五點)

〇〇名は同夜直っに出動江殿中 った、急報により小柳指導官以

滿軍大活躍

リンパ腺結核

はと効果へ

の飛ばに列艦した二十道路線を一般と西海安服三十分にして呼ば関いて、別項、森林等順路徐整(〇〇名出跡、西馬恩子的近で同座 共匪と交戰 **警察隊に死傷** の得博大哈、西馬班子の山林地帶 成第八旅歩兵十一際本部では附近 に钥を匪首とする数十名の耶際が 【延言】御禄縣較河駐用の隣単沿

住所の西方三里木材迦猴動旅附近一郎際に人質として揺ばれてあた日午後五時年間系山影管下獨山社一二、手管照三百旅館を押収、交 〇名の警察院院は静能途中十九の駆動で南川側が高者なく歩兵統計記する第一中院家事捐留官以は死産五を選集して敗走した。こ 統則長季門林上尉を指揮官とし 頭膜中との情報に接し直もに機関 一,手留彈三百旅遊を仰收、交同 版大通るいれを専門。 無対比数して本僚法 無対比数して本僚法 にはいてゐる。京城日 ではこる。京城日 坂大道るいれき専門で名通いれる場所で名通い

たが部下一名即死、一名車場を員一物膜(デ)を整領し十八日開発した 的百五十の共国と選挙、交服し 吉山吉峰仙同遊館區店更文明孫史

ハガキで申込が上

人を殺して縊死 兇行後十日目に

郷里で死體を發見

塔島力寺回の試練によつて祭に「歌去したので雙山野で迎人郷奈中「慵魎館らしいのたと考へてゐる。軍民一教は「石で金の頸部を駿打却だせしめて」は迎人鳥数の日分としては極めて好成績を好」石で金の頸部を駿打却だせしめて「は迎人鳥数の宮崎で行たれば論じられないが「里の適邸で淡落中口戯を始め挙げ「観弦所遺が經濟や行たれば論じられないが「里の適邸で淡落中口戯を始め挙げ」観弦所遺が經 里の画店で欧治中口論を始め李は一覧在所員が經見した、殺害の殿改 【北青】嬰山郡安水面平山里李柱 であつたが、九月に宝り犯人李は 犯人自殺のため不明であるが知

後の難機機聚に際し消防線の活動しり電影が精緻を眺めるのも関かずし慶渡」今回の防空監督中十八日の重勝にも出せず再び政然と起上し 最後まで部署について任務を完か したがこの重成な行為を辞部 も激賞し解散式に當り四田大尉は

3つて顔面胸部は鮮船に染り直に遠行中不幸にも削削上下五本を

特に回去に質調を興へた

姚の顺急手當を受けるや相當

間島防空の

完全者(")に別心に自己の化器 |自跳しいものがあつたが消防手|

将來に光明 演習終了に當つて

金防護團長

直り質励された北野川島防玄英君 たが延吉院衛隊本部指導部長鷹森 は十九日午前七時をもつて終了し 大佐は演習を終るに當り参加開設

まる十七月以来の防空が関は演 がにより無事経了するを経まし かにより無事経了するを経まし ない。 題を設した

「江陵」元山岡工門議所では江原 元山から再 び慰問品 江陵に到着

る十九日群在所、愛國婦人會及び一般問題を十九日送つてきたがこれ 名の死亡者を出したが同面では去一道水野教派官と場合し左の第一面

悼會を執行、参列者数千台に達し 相談り午後一時より連谷面市場路 非常な路底であった 他場で死亡が八十一名に對する証

被害實に五百萬圓

死亡行方不明は二百五十五名に上る

能に会問は古民に天の如く感謝の

坦震措導官の損害に並び良管でした酸酐を総つたの預別者が語型機等位が確心し参加した金服器氏は左の通り希望

鷹森大佐謝意表明 の撥仕業務の完璧に制造され

の使育に於て訓習指揮に任じまるものとして濟しく感謝して任るものとして濟しく感謝して ある所であります演習終了のと

希望と謝辭

「延言」延音防護院長として不配 小体に対と共に今回の財産設計

三名の死者を出した隣接新里面と「は新来適當た時期を待つて配給す」 咸南對岸の共匪群 御斷ならぬ氣配

周太平は撫松再襲を揚言

金日成の一隊長白を狙ふ

の擴張

官民關係者數百名を招き 盛んな起工式擧行 く着工

百五十米の第二即總動院生の職職 | 谷口守備職技と訓説師録申島の時、等兵の影雅碑と悪山寺に安慰され「海州」工費百四萬面を投じて二一方有議立直派各則部額群に集合、 | | 謝事優中飛死した守備職の小禄上 時生地盤し、更に別職者一同は溶析に参親記念日の行事を終つた局離論があり英敬を三唱、午後四一てある今回の難死者森田恒長の遺

けふ元中校庭で

り起てすることに決定したが、道 政治を振聞工事は座よ異反の政権

作を修へ来る廿九日午後一時よ

事を励さんとする第一期

開係有志等数百名を招き規盟で

山中県校庭で開催される第四回版。不便あり解説は騒い現記式、交に「展興」二十三日午前九時から元。世代わばならぬ、は断式には色、「展興」 百九十四名が烈々たる関連を展開 選手百九十名參加

半を添へるため面創質の陶器を捌った。なほこの起王式に一般と光 修大な程士武を維行することにな

式腳▲總質告辭▲來選祝辭▲閉

質業理域 低以来これが改革を削減してみたてをり郵便局としても問題局長者 自働式に数更を数年に重り関盟 れに作る交換局対処、現時官の敗 カ巡上明年度保算に方式製更と

語交換品建物は 緩順コンクリ 既行十二門,一時班

帖眞寫の到殺込申

開発ったがこれが決勝戦は虚上来一本総会もこれと、もに内部技能 孤等により面目を一新する管へをなしタイル床頭、花園和曼祉

Ø) 7 16

き、お化粧が不思議なくらるなる様で、一般のでもは続か思いのまとに楽しく他の問題しますから、どんなアプラ脳の 職をひきしめ、汗やアプラの分泌を 獨特の実容成分の作用で汗賊や船助 等 : 化

第一等!

脱や財験を導くするから、研究せば、原際(降降)は壁の作用でき、別に戻れた。 人に課はれ 料毛養新の社談論 リニアフ 店商吉遍木鈴 実達グロタカ報御 天西野世界京東 である (生)

の

職、数、敷には、家ダニ等の機 間にさょれてカニイ脳にこの機 が、対、間には、家ダニ等の機 美容楽として! で配置されてるセナー やカユさが不思識に止りますの

く整つますし

大谷後や洗剤後等にお用ひにな 物を防ぎ、お肌をシンから楽し

+

「江麓」郡内の風水郡については「に遠してある、披露館を内略すれ」 産一一一、一二〇回計五〇三六、な気器を築つた連行面では七十人でいる。 江陵水禍の總決算

追悼會 死亡者 連谷面で執行

堤防被害領五六、五四○間、水【江陵】今回の風水圏で最も激活

れによれば披露語がは五百英四

魯蚊南京虫等の

ュール・映画物に歌一等の良義と言はれ、歌くな歌ーが訳で失記 されたがでも広戦のが歌にだけ は歌子が訳でも広戦のが歌にだけ

艮 物 等

吹 に

作 Ø

、ヴィタミンBBAD等の供給により榮 經過を好轉せしむ

、微熱を防ぎ盗汗を防ぐ

般虛弱体質、禁養及食慾增進等に卓効あり

本劑の御屋を開める

御愛用を懇請すを異にす、 玉石混淆なく是非の同種製劑ミは組成に於て全効果に就ては世論已に定評あ

綳

献贈

劑にして、己存の結核治療劑と は全然其趣きを異にす せる世界的獨創の活性酵素注射 を培養し特殊の方法を以て抽出 本劑は酵母菌及數種の非病原菌

、赤血球沈降速度を正常ならしめ疾病の 、網狀内皮細胞を刺戟し白血球を増多せ 、本劑は特殊 エンチーム の作用により 病原菌の發育を阻止し且死滅せしむ しめ賦活作用を旺盛ならしむ

養及食慾を増進せしむ

讃せらる

大 日赤大阪支部皮膚科 日赤大阪支部眼科 日亦大版支部呼吸器科 版慈 肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肋腹膜炎、眼結 惠病 院 器學士 醫學博士 醫學博士前田伊二次郞氏 醫學博士 醫學博士 阿南 山本守部氏 佐. 有山 藤千三郎氏 森川 田本 芳 實治 氏氏 平一 氏氏

各大家の驚異的絶讃

エポツクを劃せる近來の一大傑作なりこ賞 及豫防に應用せられたる左記各大家は一齊 本劑を多數の結核疾患.肋腹膜炎等の治療 に其奇蹟的著効を確認され結核治療界に一

了炎症性諸疾患

主持特異性

装

地 賣 各地有 楽店を 早 Ü, 名 藥店に

じ御下命 をの あ

u]

元 商 딞 田 黑 社會式株

詳

細文献

御 申

次第

ACAIN COMET

就然 樂 商 (特許出願中)

―――すつかり出來あが

機関は第二届女权

シ訓練を受けてるた、本町脚瓣 「戦行した、光松門」土皇路の細鉄牌」。あり西大門署へ保護してあるが、別を銀、卵炭銀、乳炭銀が火を | 女きながら末 | 解露過剰を | ・西外門前で内地人少年の姿況、

きのふ盛大に行はる

同後十一時になつても左の四代は 日の宣城は迷び見が凝山あつたが一

京川間で大型な人出を見た甘

江崎 一色に焼りつぶされた

競馬大穴が二つ

快晴で人氣煽る

1カイドウ(油华)

東せて走る流線型の新能度バスが出来た

祝宴費用の

総された普遍府議或吏氏の事性に「甘名に對し取職べを行ひ更に後午」当時に取制べた結果、舊過能表の

近郊を一般打するなど 置く脳井が基本の

回 ◆第一本供加新(千八百)六頭◎ →第一本供加新(千八百)六頭◎ → の勝馬墜恋は次の通り → の勝馬墜恋は次の通り → 1 三日恒例通り東大門 けふの豫想 ラニカツ△ハツギク||拍新(千八百)六頭◎









内科小兒科 山田 曜 院

校長宅の 强盗 犯人未だ捕ら

午後六時収調べを一先つ打切

を受ける。 ・ 本語では、 ・ 本述では、 ・ 本述では、 ・ 本述では、 ・ 本述では、 ・ 本述では、 ・ 本では、 ・

●養殖福岡産婆學校園市水茶品庫生産婦人計園等

《一大旦全族巡查》内地大家集状定式志思 《大旦·莱尔思福日照公中丛灰邻三代》里 《古人》

を報じ島崎病院 特談財門病科 本277元ミーレントグス科 で表記月間の表記の 本2776日

齊發店商尾西 京東 舗本子束子の亀

古に関り特に者側にて仏秘で古に関り特に者側にて仏教で

※京日案内

今夏は傳染病

外にひどかつたのは赤痢

昨年に比べ患者死者を増す

位は赤胸で、思索が一王百万十九名、死海は二百十

削手間局に比較すると思道三百八十八名。死者日九名同れも増加を

った、なほ配山中學校では井

名何れも間増を示した、次ぎは話チフスで思議七百七十九名、

強奪した帰途地人機器のため、 長干栗氏方に押し入り、五十回を 日系軍人募る

頭別回では大の通り日系軍官

前にが点 トンテ西中 第7四に清電 続れの一項が指

タンスは津村

大演習を前に

昨日の拳鬪戦

津村タンス店が経済を

内地往來の 郵便物增加

出敷は百冊四萬卅二通で内地から

學會映畵會盛況

けふの天氣

















護婦別別服用

が住は勿論、慢性も恢復が早く、下痢、腹所、サンを服用すれば、勝カタルは原因的に治療 ana。 同時に弱に数の炎症を被質防護して治癒に対 **窓殺し、また海索及び腐敗物を吸著して大便中等トモサンは、腸カタルの原因である腸内の有**

T.83

١

麻雀ピンチ人用

蕁麻疹に

30 第二十五首を極端し上野、本墓士、 事鑑で公職を開始する部であるの 「選生端盟星相田、法総合大阪生」然る後半野同態界四部長、鑑問郷

||現内質は、三)をはじめアシ||陰地事部長原で船飾公頼を明

に直って一千八十六個以外の

版は次第に附品する。

3

紹介へ排出する作用が弱いからである。 でサンが整殊参に奏効するのは、 路内の経営を 國大學内科で井早博士が苦心側製





